



# アルムの丘から

第 43 号

発行日 令和4年 7月 8日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号:382-0034 住所:長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号:代表026-215-2662

## 就任のご挨拶



### 須坂荘



施設長  
今関 恭宏

日頃より、グリーンアルム福祉会「須坂荘」に対しまして、ご利用者様をはじめご家族様、地域の皆様と多くの方々に温かいご支援とご協力をいただき、心からお礼と感謝を申し上げます。

この度、中島前施設長の退任に伴い、令和4年4月1日より施設長に就任いたしました今関恭宏(いまぜきたかひろ)でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

当法人には開設時から係りを持たせていただいています。昨年より須坂荘に配属となり今回の異動となりました。

新型コロナウイルスの感染は、収束する気配が一向に見えませんが、当施設におきましても、感染のリスクを抱えながら介護サービスを提供しております。職員の感染予防・感染源を持ち込まない等の対策を日々行っております。また、ご家族様等との面会を制限させていただきご不便おかけしております。寂しい思いをされていることと存じますが、どうか今しばらくご理解とご協力をお願い申し上げます。

高齢者介護を取り巻く環境は厳しさを増すばかりでございます。このような中、施設長という大役を仰せつかり、その職責の重大さに戸惑っておりますが、全職員一丸となって利用者の皆様が安心安楽にお過ごし頂けるよう努めると共に、地域に根差した施設づくりを実現するため、微力ではございますが努力して参りますので、どうかご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 特別養護老人ホーム グリーンパルベル 通所介護事業所 グリーンデイサービスセンター



施設長・管理者  
斎藤 俊一

令和4年4月1日より、特別養護老人ホームグリーンパルベルの施設長、通所介護事業所グリーンデイサービスセンター管理者を拝命いたしました。昨年度までは認知症高齢者グループホーム、ケアハウス、訪問介護の管理者・施設長を務めさせていただいてきました。特別養護老人ホームという施設介護、通所介護施設は初めてとなりますが、専門でもある認知症介護の知識・技術を活かし、入居者の方の幸せに寄与できるように精一杯務めさせていただきます。今後とも前任者と変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### ケアハウス ピュアリッツ



施設長  
東城 多江子

風薫る5月、ケアハウス2階のバルコニーからは、残雪をまとった実美しい北信五岳を眺めることができます。この春ケアハウス ピュアリッツの施設長を拝命致しました。地域の高齢者福祉の拠点であるグリーンアルム複合施設の一翼を担う重責に、身の引き締まるような思いと同時に、この素晴らしい眺望を楽しみながら働けることに、心から喜びを感じております。ケアハウスは60歳以上の自立したお暮しのできる方が入居の対象です。本来であれば、善光寺の御開帳も諏訪の御柱も、自由に楽しめたであろう佳き年であって、このコロナ禍ゆえに窮屈な生活を強いられている入居者様とご家族の心中を思う時、本当に心が痛みます。少しでも皆様の日常が生き生きと張りのあるものとなりますよう、心身ともに穏やかにお過ごしいただけますよう、優しく温かくお支えして参りたいと思います。一日も早くこのコロナ禍が沈静化することを日々祈りつつ、ご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

### グループホーム グリーンクリスタル



管理者  
林 将也

今年度からグループホーム グリーンクリスタルの管理者を任されました、林将也です。よろしくお願い致します。  
私がグリーンアルムに入職いたしましたのが平成15年、以降老健を経て、グループホームで認知症介護に携わってまいりました。  
私たちグループホームの理念のキーワードとなっている「笑顔＝入居者様の幸せ」、「共に暮らす安心」に表されるように、住み慣れた地域で長年培ってこられた、入居者様お一人お一人の暮らしの継続を大切に、認知症を患われても助け合い、支え合いながら安心して暮らして頂けるように、お手伝いさせていただきます。「お米を久しぶりに研いだよ。ありがとう!」と笑顔を見せるお年寄り。そんな、当たり前な日常を失わないために。グループホームはそのような暮らしのある場所でありたいと思います。  
微力ではございますが努力して参りますので、ご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

### グリーン訪問看護ステーション



管理者  
中島 優子

グリーン訪問看護ステーションの管理者となって  
4月から北村管理者から引き継いで管理者となりました中島です。  
異動前の10年間は老人保健施設で勤務し、その前の5年間は訪問看護でお世話になりましたが、まさか管理者として訪問看護に戻るとは思いもしませんでした。縁あつての異動ですので、精進してまいります。  
現在訪問看護は須高地区には7つの事業所があります。選んでいただけるよう開かれた訪問看護を目指し、また、複合施設という特色を生かして、地域で、ご自宅で安心して生活ができるよう支援していきます。緊急対応、看取りも行っています。  
訪問看護の部屋の窓からはツバメの巣が見え、ヒナの鳴き声が聞かれます。桜、ハナミズキなど花々、山々も見えてよい環境の中で仕事をしています。  
伊藤、鈴木、両看護師と力を合わせて頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

# 複合施設でゾーニング事業を行いました

複合施設は、一つの建物に複数の事業所が合築されており、感染症が発生した際、他事業所へ感染拡大する危険性があるため、県の補助金を活用し、外部からの出入口に、職員が防護服等を着脱できるスペースを各事業所に、設置しました。

## —グループホーム—



## —ケアハウス—



## —特-養—



## —老-健—



### 編集後記

近くの山々の緑が濃く、やわらかい気持ちいい風の季節があつという間に過ぎ去ってしまい、暑い季節がやってきました。

今年は、「3年ぶりに行動規制のないゴールデンウィーク」となり、久しぶりに旅行や会食を楽しんだ方も多いのではないのでしょうか。新型コロナウイルスの流行から2年以上が経過し、ようやく社会の活気を取り戻しつつありますが、まだ気を緩めることなく感染予防対策を取らなくてはなりません。

コロナ禍でマスクをするのが生活の一部になりつつありますが、着用の緩和が進んでいます。着用緩和の動きの中で、「マスク生活に慣れてしまったため外せない」「マスクを外した素顔をさらすのが怖い」などの意見もあり、今後もマスク着用を続けたいと思う人も多くいるようです。

しかし、今年の夏は猛暑になるとの予報がでています。熱中症予防のため条件下ではマスクを外すことも必要です。本格的な夏を迎える前に、無理のない範囲でコロナと熱中症の予防をして、楽しい夏にしたいですね。